2019年第1回分析化学技術者教育企画委員会議事録

日時：2019年4月12日（金）13時30分から16時30分

場所：日本分析化学会会議室

出席者：川田哲（物材機構），四角目和広（化評研），高菅卓三（島津テクノリサーチ），野呂純二（日産アーク），平井昭司（元東京都市大），吉川裕泰（Yoshikawa Sci. Lab），志智雄之・國武由紀（事務局）　　※四角目委員は14時30分に退席

欠席者：石橋耀一（元JFEテクノリサーチ），大塚浩二（担当理事・京大）

川田委員長の司会で開会し，以下の議案について協議した。

1．配布資料の説明

・2018年度講習会結果と2019年度計画(スライド資料・川田委員長作成)・・・こちらの資料を基に協議した。

・事務局作成資料（資料1～6）・・・基本的に昨年11月行われたものを流用し，以後更新されたもののみ差替え。主なものでは2018年収支報告(最終版)。

・分析化学技術者教育企画委員会実行表・・・各セミナーの2019年度スケジュール一覧。

2．本委員会の目的と講習会の意義

川田委員長から，本委員会の目的は定款第4・5条に定められ，技術者のISO/IEC17025 試験所認定や教育訓練証明に必要なスキルアップを指導しており，公益性の強い講習会として実施されていることからも公益法人としての目的を充分果たしている。その旨は昨年12月の理事会にも進言され一定の理解が得られたとの報告があった。

　　注）スライドの「ISO17025」を「ISO/IEC17025」に修正が必要。

3．金属セミナー委員長の交替

　川田委員長より，現・石橋委員長（金属セミナー）の申し出により，吉川氏（現セラミックスセミナー委員長）へ変更する旨が報告され承認された。

4．2018年度の各セミナー結果・状況報告

　2018年度最終収支報告により全体で約380万円の黒字と報告された（人件費・管理費は除く）。また，各セミナーともに概ね10名～20名前後の参加者が損益分岐点であることが確認された。

5.講習会が抱える現状の課題と対策

　川田委員長から，理事会からの依頼事項として学会職員の減少に伴い，セミナー担当職員の労務負担が大きい現状を改善する必要がある旨の問題提起があった。すなわち，学会事務職員減員に伴う新たな実行体制の早急な構築が喫緊の課題となっていること。

実技試験を伴う講習会は事務作業が煩雑で，これが開催時の事務局負担を一層大きくしており，業務の移管を検討する際にも大きな課題となっている。本件について協議した結果，以下の意見が述べられた。

1）実技試験について

・実技試験の実行は外注検討においても最も高いハードルである。実技の部分は技能試験委員会で預かってもらい，本委員会では講義のみを担当することは可能かを検討していく。

・技能試験は組織を対象としており，本委員会は個人を対象としているので一緒にすることは難しいとの意見があった。本委員会のセミナーは初心者の教育に必須であると考えられ，本セミナーで実技指導を行っていく意義は十分に大きい。

・実技試験についての結果締切後の対応は今後、委員長を中心に委員会内で対応することとした。

　・水講習会は実技試験解析後のシートを整理して、最終印刷原稿まで委員会で作成することとした。

2）講習会開催に伴う学会事務局の業務負担についての改善方法

・事務作業の外注化より非正規職員（パートなど）を専任者として事務局に雇用する方が得策ではないかとの意見が多くあげられた。

　・締切日の厳格化により，作業効率を上げる。

　・セミナー実行において，実行委員会と事務局作業の切り分けを明確にし，実行委員会でなるべく完結してもらうようにする。（開催日が決定したセミナーについては，日付を記した実施スケジュールを個別に作成して実施する。本年度のひな型は事務局で作成）

　・セミナーで使用する資料は原則として委員会で完全原稿を作成し，印刷を事務局が行う。

　・セミナーの実施時期の集中を出来るだけ避けるように計画する（月2回程度）。

3）参加者減少に伴う課題の設定

　・募集要項に「10名未満の場合は中止する場合がある」旨を記載する。

・収支が赤字になった次の年は開催を休止して，隔年開催にする。

　・金属セミナーとセラミックスセミナーは統合も含め今年10月までにリニューアルの可能性を検討する。

4）次回委員会開催（2019年11-12月頃）までに上記について実施マニュアルを各委員会で整備する。

6.　本年度実施計画

　金属　　　　：2019年11月（予定）

　水中　　　　：2019年10月25日・2020年1月24日

　ダイオキシン：2019年10月17・18日

　セラミックス：2019年11月（予定）

　基礎　　　　：2019年6月24・25日

　基本と安全　：2020年1 or 2月（予定）

　電池　　　　：2019年11月29日

不確かさ　　：2019年6月27・28日，10月3・4日，2020年1月30・31日

8．その他確認事項

　・現況で準備が遅れている金属セミナーとダイオキシンセミナーについては4月20日までに募集要項を確定させることとした。

　・内規の整備（各セミナーで費用などに統一感がない）

・受講券の廃止（名刺や記名用カードを用意することで代用）・・・受講番号などは受付時にメールなどで知らせる。

・申し込み状況は締め切り1か月前頃に委員会に通知し，少ない時などは委員会で声がけしてもらう。

・各セミナーに委員長のほかに副委員長をおく（委員長と連絡が取れない場合などの補佐）。

・次回委員会開催：2019年11 or 12月頃に行うこととした。

・長期（5年以上）に担当してくれた講師に感謝状を出すことを理事会に提案する。

以上

文責（川田，志智，國武）